◆　競技に関する確認事項　◆

1.　エントリー変更について

（１）　エントリー変更がある場合は、2026年（令和８年）１１月３日までに参加申込書を再提出してください。

※ 大会参加申込期日が過ぎてからのエントリー変更は原則認めない事とする。

2.　チーム名盤について

（１）　各チームは、１日目の競技終了後、「チーム名盤」を競技役員から受け取り、２日目の試合会場へ持参してください。また、持参した「チーム名盤」は体育館入館後直ちに競技受付に提出してください。

3.　練習会場について

（１）　各試合会場では、練習会場はありません。

（２）　各試合会場のロビー及びボールを使用しての屋外での練習は固く禁止します。

（３）　各試合プロトコール開始前のコート練習を１０分間取ります。ただし、ネットを使用しての練習は禁止します。

4.　試合の開始時刻について

（１）　１日目の試合開始時刻について、小瀬会場は開会式終了後コート設営が終わり次第、全体練習（１５分程度）を行い、プロトコールを開始します。他の会場については、各会場に到着後随時コートでの練習を行い、対戦チームが揃ったコートから順次プロトコールを開始します。

※ 全体練習では、第１試合のチームがコートを優先的に使用してください。

5.　コートオフィシャル（ラインジャッジ・点示）について

（１）　全てのカテゴリーにおいてコートオフィシャル（ラインジャッジ・点示）は、２日間参加チームが行います。１・２日目の担当については、割当表を受付で配布しますので割当表に従ってください。

（２）　２日間通じてお昼休憩は取りませんので、昼食は試合がない時間帯にお取りください。

6.　STO(セーフティータイムアウト）について

（１）　第1、第2セットでは、リードしているチームが11点に達した時、第3セットはリードしているチームが8点に達した時、選手の健康観察のための30秒間のセーフティータイムアウト（STO）が適用される。さらに、デュースが続く場合、1～2セットは両チームが31点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。また、3セット目は両チームが21点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

7.　ベンチスタッフの指導者資格について

（1） 監督・コーチ・マネージャーのうち１名は以上は成人（１８歳以上で選手の引率責任者を果たせる者）で、JVAベーシックコーチライセンス、日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ、コーチ１～４のいずれかの資格取得者でなければならない。

※ 指導者証は受講証を試合前にレフェリーに提示してください。また、試合中は首から提げるようにしてください。

8. ベンチスタッフの服装について

（1） ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、スタッフで統一された服装とします。

（2） 小学生がベンチスタッフとして入る場合は、服装が他のベンチスタッフと異なってもかまいません。

9. 応援について

（1） 横断幕は、試合中の該当チームのみが１枚掲出し、試合終了後直ちに撤去してください。

（2） 横断幕を掲出する際は、コート表示を隠さないようご注意ください。なお、各会場ともガムテープなど粘着テープの使用は禁止されているので、必ずロープ・ひもを使用して固定してください。

（3） 応援用の「のぼり」を使用する時は、観戦の妨げにならないよう、観客席の後方に固定してください。ガムテープなど粘着テープの使用は禁止です。なお、該当チームのみが立てることができ、試合が終了したら直ちに撤去してください。また、個人名の入った「のぼり」は、掲出することはできません。

（4） 応援の際にメガホン等を使用する場合には、安全面に留意するとともに、フロアに落ちて試合進行の妨げにならないように注意してください。また、太鼓やラッパ等の大音量を発生する物を使っての応援は禁止します。

10. ベンチへの持込物について

（1） 飲料水、救急用品、タオル等競技に必要なもの以外はベンチに持ち込まないでください。

（2） 飲料水については、選手・ベンチスタッフとも、シートが敷いている場所で使用してください。

（3） 通信機器等のベンチへの持ち込みは禁止とします。